

第 21 回中国-ASEAN 博覽会に参加

9月23日から28日にかけて、一般社団法人日本中華總商会は招待を受け、中国広西チワン族自治区南寧市で開催された第21回中国-ASEAN博覽会に参加いたしました。何玲青（河原玲青）副会長が今回の代表団団長を兼任し、許萍副会長や関西中華總商会の数名の日本企業家とともに参加しました。

9月23日には「2024年日本企業広西訪問交流会」に出席しました。交流会には、広西チワン族自治区党委常務委員兼自治区副主席の盧新寧氏、中日友好協会常務副会長で元中国駐日本、韓国、マレーシア特命全権大使の程永華氏、元商務部アジア司司長の呂克儉氏、元駐日本大使館参事官の汪婉氏、そして広西チワン族自治区の市級幹部や企業家代表らが出席しました。

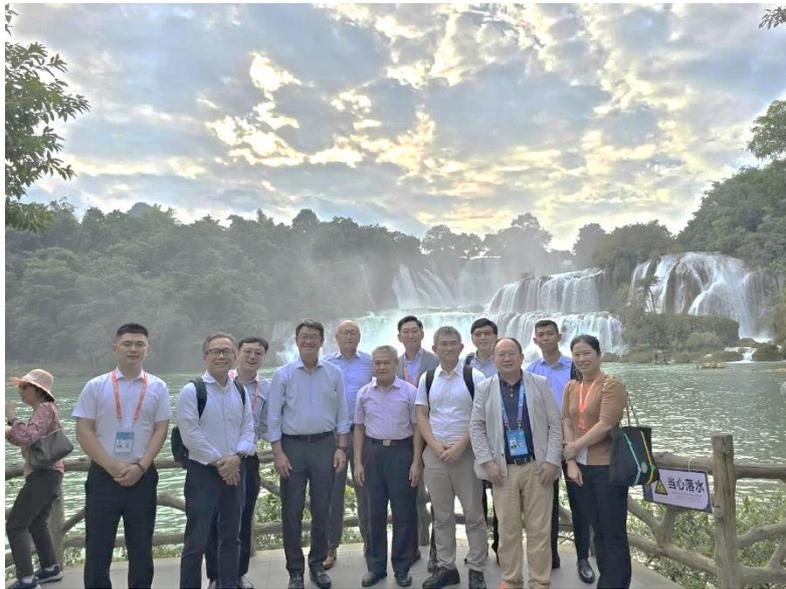


交流会の間、何玲青（河原玲青）副会長は日本中華總商会を代表して発言し、広西地域の急速な経済発展に感銘を受けるとともに、今後さらに海外との貿易往来が密接になることを期待していると述べました。交流会終了後、参加者は多国代表が共催する合同会議の晩餐会に参加しました。

9月24日に、第21回中国-ASEAN博覽会の開幕式が正式に開催されました。開幕式では、中国國務院の丁薛祥副総理が出席し挨拶を行いました。また、ASEAN各国の指導者が出席し、サウジアラビアが正式にASEANに加盟することを歓迎しました。同日の午後には、「RCEP 経貿協力ハイレベル対話（RCEP 经贸合作高端对话）」に参加しました。夜には、南寧華商会を訪問し、地元企業家の皆様から熱烈な歓迎を受け、商会の代表者と記念品の交換を行いました。



9月25日には、憑祥産業園、憑祥市の国境輸出加工産業園を視察しました。そして、中越国境にある徳天跨国大瀑布に到着し、参加している日本企業の代表とともに記念撮影を行いました。同日の夜には、中国一級茶芸師による茶芸を体験し、選ばれた広西六堡茶を味わいました。



9月26日の午前には、ハルビン工業大学が運営する嚴格集團南寧産業園区を訪問し、責任者と深い交流を行い、中国の宇宙開発の歴史について理解を深めるとともに、最新技術を体験しました。